

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公開番号】特開2002-223672(P2002-223672A)

【公開日】平成14年8月13日(2002.8.13)

【出願番号】特願2001-25453(P2001-25453)

【国際特許分類】

A 0 1 K 89/01 (2006.01)

【F I】

A 0 1 K 89/01 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月9日(2008.1.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

スピニングリールの第1及び第2ロータームの先端に糸開放姿勢と糸巻取姿勢の間で揺動自在に装着されスプールに釣り糸を案内するためのスピニングリールの釣り糸案内機構であつて、

前記第1及び第2ロータームの先端にそれぞれ揺動自在に装着された第1及び第2ペール支持部材と、

前記第1ペール支持部材から突出する固定軸と、

前記固定軸の突出端に第1ペール支持部材と間隔を隔てて設けられ、その頂点が前記固定軸の軸芯を基準にして前記スピニングリールの後方向かつ前記スプールの径方向外方に配置された略円錐形状の固定軸カバーと、

前記固定軸に回転自在に支持されたラインローラと、

前記第2ペール支持部材と前記固定軸カバーの前記頂点とに両端が挿入固定され、前記固定軸カバーの釣り糸案内側の第1稜線と前記第1稜線と前記頂点を挟んで対向する第2稜線とに滑らかに連結された線材製のペールと、

を備えたスピニングリールの釣り糸案内機構。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段】

発明1に係るスピニングリールの釣り糸案内機構は、スピニングリールの第1及び第2ロータームの先端に糸開放姿勢と糸巻取姿勢の間で揺動自在に装着されスプールに釣り糸を案内するための機構であつて、第1及び第2ペール支持部材と、固定軸と、固定軸カバーと、ラインローラと、ペールと備えている。第1及び第2ペール支持部材は、第1及び第2ロータームの先端にそれぞれ揺動自在に装着された部材である。固定軸は、第1ペール支持部材から突出する軸である。固定軸カバーは、固定軸の突出端に第1ペール支持部材と間隔を隔てて設けられ、その頂点が固定軸の軸芯を基準にしてスピニングリールの後方向かつスプールの径方向外方に配置された略円錐形状のものである。ラインローラは、固定軸に回転自在に支持されたものである。ペールは、第2ペール支持部材と固定軸

カバーの頂点とに両端が挿入固定され、固定軸カバーの釣り糸案内側の第1稜線と第1稜線と頂点を挟んで対向する第2稜線とに滑らかに連結された線材製のものである。

【手続補正3】

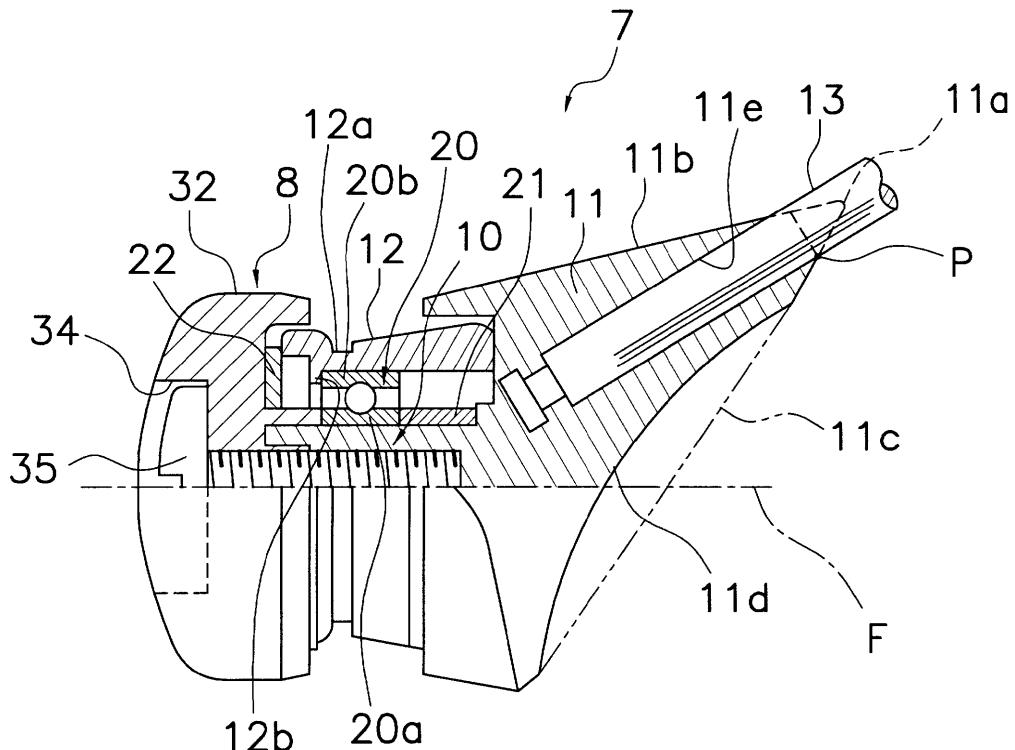
【補正対象書類名】 図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 2 】



【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図4】

